

製品名: ホスホグリコーゲン合成酵素 (Ser641) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02049**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 84 kDa; Observed MW: 84 kDa

抗原情報

遺伝子名	GYS1
別名	GYS1; GYS; Glycogen [starch] synthase; muscle
遺伝子 ID	2997
SwissProt ID	P13807
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

背景

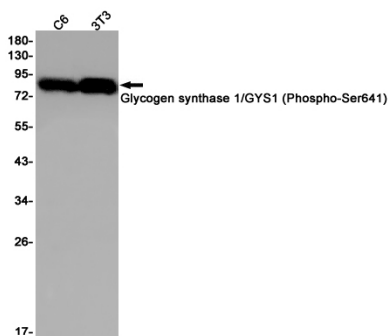
UDP-グルコースから α -1,4-グルカンの非還元末端へグリコシル残基を転移する。グルコース-6-リン酸によるアロステリック活性

化。リン酸化はUDP-グルコースに対する活性を低下させる。非リン酸化状態では、グリコーゲン合成酵素はアロステリック活性化因子としてグルコース-6-リン酸を必要としないが、リン酸化状態では必要となる。

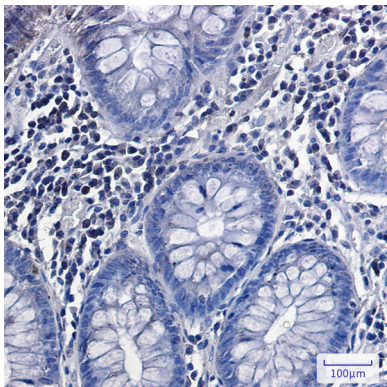
研究分野

シグナル伝達

画像データ



リン酸化グリコーゲン合成酵素 (Ser641) 抗体を使用した C6、3T3 溶解物中のグリコーゲン合成酵素 1/GYS1 (リン酸化 Ser641) のウエスタン ブロット分析。



ホスホグリコーゲン合成酵素 (Ser641) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。